

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達サポートつなぐ利府		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日 ～ 2025年1月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2024年12月16日 ～ 2025年1月24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験年数5年以上の有資格者やリハビリ職も配置されているため、多職種共同しながらの支援が提供出来ている。</li> <li>・常勤看護師が3名配置されており、医療依存度の高いお子さんに対しても、細やかな観察と支援が行える体制が整っている。</li> <li>・職員のスキルアップの為、それぞれのスタッフが自ら学び、質の高い療育を目指している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の体調面や様子を共有できるように、日々個別支援計画に沿って記録を記載し、個々の支援を振り返る時間を設定し意見交換している。</li> <li>・外部の研修等に積極的に参加し、メンバー間で共有している。</li> <li>・特に医療依存度の高いお子様に対しては、すべての職員が状態の把握・支援方法・急変時に対応して動けるようにマニュアルを作成して職員間で共有、定期的にシュミレーションを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの成長や変化に合わせて、個別支援計画の見直しを行っていく。</li> <li>・すべての職員に共有がスムーズに行えるように、共有方法の検討・工夫が必要。</li> <li>・急変時のシュミレーションは定期的に計画し実施していく。主治医や保護者様とも情報交換しながら、緊急時に備えていく。</li> <li>・主治医や訪問看護・リハビリとの連携により力を入れていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1での丁寧な対応や利用中のお子さんの様子を細やかに伝え、お子さんの変化や成長を共有する等良い関係性を築くことが出来ている。</li> <li>・保護者の満足度に繋がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長や変化が見られたこと、気づいた事などは連絡帳(写真)や登園・降園時に細やかに保護者様にお伝えしている。</li> <li>・保護者様からの要望に関しては、すみやかに職員間で共有し、検討して対応している。</li> <li>・児発日記を1週間ごと更新し、週の遊びや行事の様子について発信している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回程度、療育参観の日を設け、保護者様にお子さんの成長や変化について共有出来る場や機会を作っていく。</li> <li>・年に2回の保護者面談以外でも、保護者様とゆっくりと話をする機会を作っていく。ご自宅の様子や変化を伺いながら、日々の支援に活かしていけるように情報交換できる場を作っていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとの行事を年間通して多数開催している。</li> <li>・定期的にお茶会を開催することで、保護者同士の情報交換や交流を図れる場所や機会を積極的に提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と一緒に楽しい思い出を作ってもらえるように年間通して季節ごと多数の行事を計画・実施している。</li> <li>・行事毎保護者様にアンケートにご協力いただきながら、得られたご意見や感想を次回の行事を計画する際の参考にしながら、さらに有意義な行事を開催出来るように努力している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、保護者様からの意見や要望を参考にしながら、季節ごとの行事を計画し実施していく。</li> <li>・卒園したお子様や保護者様とも交流を図れるイベントや行事を開催していく。</li> <li>・地域の子ども達や地域全体を巻き込んだイベントの開催を計画し、交流を図れる場を提供していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に備えて、実際に起きた時をイメージできるような訓練が会社全体で実施できていない。</li> <li>児童発達の活動部屋は2階にある為、避難の際に時間を要することが考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部署としては定期的に停電時を想定した避難経路(階段)を使用した訓練は実施しているが、全部署対象の訓練が実施されていない為、災害時に避難経路の混雑が予想される。災害時を想定した年間の訓練計画が全部署に共有されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時(停電時)を想定した、訓練方法や電源確保の方法、家族への引き渡しの方法等、定期的に訓練できるように、年間計画の周知を徹底していく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と交流する機会が少ない。</li> <li>・地域を巻き込んだイベントを実施したことがなく、つなぐ利府がどのような施設なのか分からないといった地域の方からの意見も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPはあるが会社全体として発信力の弱さやアピールに欠けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの内容の見直し、地域を巻き込んだイベントの開催を検討。</li> <li>・役場や地域の基幹センターなどへのチラシの配付や情報発信方法について検討必要。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員5名に対して、お部屋の広さが狭く感じてしまう。</li> <li>・園庭がない為、室内での活動がメインとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療依存度の高いお子さんも多く、一人当たりの医療機器の数も多い。お布団を敷いて横になる休息スペースや医療機器などを置くスペースを考えると、活動スペースが狭くなっている。</li> <li>・活動スペースと休息スペースが混在している。</li> <li>・駐車場の敷地は広いが、園庭などのスペースがない。児童発達のお部屋が2階であるので、気軽に外に出ることができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休息スペースの確保、医療機器の配置の工夫、荷物の保管場所の整理等、部屋を広く使えるような工夫が必要。</li> <li>・状況に合わせてプレイルームなども活用しながら、活動スペースを確保していく。</li> <li>・気軽に外に出て日の光を浴びたり、風を感じられるような環境に設備全体を整備出来ないか検討</li> </ul>